

和歌山城跡第39次発掘調査現地公開について

和歌山市営駐車場建設に伴い、2019年5月から発掘調査を行っています。調査地は和歌山城三の丸「評定所」の跡地に当たります。「評定所」はもと会所と称し、明暦元年(1655)にこの地に設置され、勘定奉行のもとに構成された藩内すべての財政を取り扱う役所でした。江戸時代に描かれた地図には「評定所」の記載がみられ、文久3(1863)年の絵図にも確認できることから、評定所の立地場所は変わらなかったようです。

調査では、評定所の時期に使用されたとみられる石組み拵などが見つかっています。遺物は陶磁器や瓦などが多数出土しています。中でも「二分口」という評定所内の役所名を記した土器や評定所内で働いていた役人の名前を記した墨書土器が多く出土し、役所として使われていた特徴を示す遺物が出土しました。

これまでの三の丸跡で行われた発掘調査では、家臣の屋敷地の調査が中心ということもあり、多数の土器とともに当時の人々が食べた貝や魚の骨といった生活の様子を示す遺物が遺構から多数出土しています。それに対し、今回の調査では生活の様子を示す遺構が少なく、生活感がない印象を受けます。

今回の現地公開では、発掘調査の現場と評定所の関係する遺構を見学していただけます。また、今回の調査で出土した墨書土器などをはじめとする遺物を展示します。

1. 開催日時 令和元年9月14日(土)
午後1時30分から午後3時まで(受付は午後1時から) ※少雨決行
2. 開催場所 和歌山市役所北側(和歌山市九番丁)
3. 交通機関 JR和歌山駅からバスで10分(和歌山市役所前下車)
南海和歌山市駅から徒歩15分
※駐車場はございません。ご来場は公共交通機関をご利用下さい。
4. お問い合わせ先
公益財団法人和歌山市文化スポーツ振興財団
埋蔵文化財センター TEL (073) 435-1129
和歌山市産業交流局文化スポーツ部 文化振興課
TEL (073) 435-1194



調査地周辺地図



和歌山城下町絵図(安政2年(1855))



みつかった石組み柁



みつかった「二分口」の墨書のある土器